

「博物館でお花見を」

“桜”モチーフの絵画や工芸品、きものなど展示・庭園で桜も

東京国立博物館(上野公園) 24.03.12~04.07



東博(トーハク)では今年も春恒例企画「博物館でお花見を」が開催され、各展示室では、絵画、陶磁器、きもの、工芸など“桜をモチーフにした日本美術名品”が展示される。また、本館北側の庭園では、「ソメイヨシノ」をはじめとした開花時期の異なる10種ほどのサクラの観賞を堪能することができ、他にさまざまなイベントが開催され、「特別なお花見」の企画を楽しめる。



鳥文斎栄之
《金龍山桜花見》 浮世絵
18世紀・江戸時代
錦絵・大判
38.5 x 24.5
花見をする女性を描いた作品。



《桜撒絵十種香箱》 19世紀

「香箱」に桜を描いた作品は、金や銀などの荘厳な色で桜が描かれている。



東博玄関前の「しだれざくら」